

関係団体等ヒアリング報告書

関係団体等ヒアリングについて

目的	第3次伊勢崎市総合計画前期アクションプランについて、市内の農業、商工業、観光業、福祉関係団体、子育て支援団体等の関係団体に専門的な意見聴取を行い、総合計画の策定に活用するため。
実施日時・場所	第1回：令和6年6月17日（月）10:00～11:00 第2回：令和6年6月17日（月）13:30～14:30 第3回：令和6年6月18日（火）13:30～14:30 第4回：令和6年6月19日（水）16:00～17:00 @伊勢崎市役所東館3階 災害対策室
対象団体	第1回：伊勢崎市民生委員児童委員連絡協議会（出席者5名） 第2回：佐波伊勢崎農業協同組合（出席者4名） 第3回：伊勢崎市観光物産協会（出席者5名） 第4回：伊勢崎商工会議所青年部（出席者5名） 群馬伊勢崎商工会青年部（出席者4名）
ヒアリングの方法 及び 対象の重点施策 （※）	第3次伊勢崎市総合計画前期アクションプランの重点施策ページ（草案）について、市から説明を行った後に、重点施策ページ（草案）に対する意見や各団体の専門とする分野に関する意見について聞き取りを実施。 各回の対象となる重点施策は以下のとおり。 第1回：【子育て・教育】 1-1子どもを産み育てる環境づくりの推進 1-2子どもの成長に応じた学校教育の充実 【健康・福祉】 2-5地域の支え合いによる福祉の増進 2-6高齢者の生き生きとした暮らしの推進 第2回：【産業・観光・文化】 3-3効率的かつ安定的な農業の推進 第3回：【子育て・教育】 1-5誇れる文化財の保護・継承 【産業・観光・文化】 3-4特長のある観光の創出と振興 3-5文化活動の継承と振興 第4回：【産業・観光・文化】 3-1商工業の振興と安心して働ける環境づくりの推進 3-2企業誘致の推進と販路拡大の促進

※重点施策の名称等は、ヒアリング実施時点の案となっています。

各団体の主な意見の要旨について【第1回】

団体	伊勢崎市民生委員児童委員連絡協議会
対象の重点施策	【子育て・教育】 1-1子どもを産み育てる環境づくりの推進、1-2子どもの成長に応じた学校教育の充実 【健康・福祉】 2-5地域の支え合いによる福祉の増進、2-6高齢者の生き生きとした暮らしの推進
主な意見の要旨	■ 地域コミュニティについて ➢ センシティブな問題には配慮が必要だが、地域での支え合いに必要な情報を共有するために、地域の中でどのように取り組むかが重要である。 ➢ 子育てや高齢者に関する問題については、地域がどう関わるかが重要である。 ■ 孤独・孤立対策について ➢ 孤独・孤立対策は、高齢者だけでなく、子育て世帯や障害者にも関係する話であり、計画にも盛り込むべきではないか。 ■ 防災等の情報の共有・周知について ➢ 防災士の資格取得者の情報は県が把握しているものの、個人情報等を理由に情報を提供してもらえないのが現状である。 ■ 学校の人員配置について ➢ 事務の種類が多く、先生方の負担が大きくなってしまっている。 ➢ 各学校に不登校児童らの支援スペースである「Pルーム」を置き、整備が進んでいるが、先生方と話をする、人員がいらないということをよく聞く。人の配置や対応策を考え、どのように維持運営していくかが重要だと思う。 ■ 不登校対策について ➢ 学校に行きづらい生徒の相談や学習指導をできる場が、公民館など校外にあるのは大きなメリットである。 ■ 主任児童委員活動の周知について ➢ 学童に携わる人でさえ、主任児童委員の存在を知らないことがある。機会があれば、主任児童委員の取組を周知して欲しい。

各団体の主な意見の要旨について【第2回】

団体	佐波伊勢崎農業協同組合
対象の重点施策	【産業・観光・文化】 3-3効率的かつ安定的な農業の推進
主な意見の要旨	■ 農家の後継者不足について ➢ 農業者の高齢化が進んでおり、後継者不足が大きな問題となっている。 ➢ 後継者不足の要因としては、持続的な農業として、経済的に生活していけるかどうかが不透明であることが考えられる。 ➢ 遊休農地は増えていくと思うが、集約を進め農業者にとって効率の良い農業を進めていけると良い。 ■ 地産地消について ➢ 地産地消を進めることが重要である。生産から消費までが見える化できていることが理想である。 ■ 新規就農者への支援について ➢ 新規就農者について、農業を始めたものの成功している人が半数に満たない状況であり、人的支援が重要である。 ■ 農業の法人化について ➢ 農業の法人化が進んでいるが、伊勢崎市では家族農業の方が非常に多くメインの層となっている。法人と家族農業の両方を支援していくことが必要である。 ■ 設備導入の補助について ➢ 国や県が行う補助は大型機械を対象としたものが多く、また、申請には規模要件として大規模な面積が求められているため、伊勢崎市のメインの層である小規模農家のニーズと若干すれ違っている。認定農業者になってもらうことをしっかりやっていかないといけない。

各団体の主な意見の要旨について【第3回】

団体	伊勢崎市観光物産協会
対象の重点施策	【子育て・教育】 1-5誇れる文化財の保護・継承 【産業・観光・文化】 3-4特長のある観光の創出と振興、3-5文化活動の継承と振興
主な意見の要旨	■ 華蔵寺公園周辺について ➢ 駐車場が足りていないように思う。受け入れ態勢の整備を進めて欲しい。 ■ 田島弥平旧宅について ➢ 田島弥平旧宅について、若者に訴えて興味を持ってもらうのが難しい。学校教育の中に取り入れるなどできるとよい。 ■ 地域の伝統文化・行事について ➢ 子どもが屋台囃子を継承している地域があるが、コロナ禍で3年ほど練習できなかったことで、毎年のつながりが途切れてしまって苦労したという話を聞いた。毎年の積み重ねが未来につながっている。 ➢ 伝統行事を継続しようとする努力が必要だと考える。 ➢ 北千木の龍頭神舞などの伝統文化を子どもたちに引き継いでいくのは重要だと思う。 ■ 観光資源の活用等について ➢ 華蔵寺公園は魅力的な場所であり、遊具の充実により、北関東有数のテーマパークに発展できるとよい。 ➢ 市内に四季ごとに旬の花を楽しめる場所があり、これを活用できると良い。 ■ 産業観光について ➢ 産業観光の工場見学ツアー等に付随して案内できる観光資源があると良い。

各団体の主な意見の要旨について【第４回】

団体	伊勢崎商工会議所青年部 群馬伊勢崎商工会青年部
対象の重点施策	【産業・観光・文化】 3-1商工業の振興と安心して働ける環境づくりの推進 3-2企業誘致の推進と販路拡大の促進
主な意見の要旨	■ 創業・起業への支援について ➤ 創業・起業に関する支援により若手起業が増えることは、地域の活性化につながる。 ■ D Xを生かした雇用の創出について ➤ 優れたスキルを持つが、くすぶっている人材もいる。物理的な距離に関係なく働くことができる分野もあるので、時代の流れでもあるD Xの側面で、雇用の創出を考えることができると良い。 ■ イベント等について ➤ 様々な立場の人が魅力を感じるビジネスイベントを開催できれば、もっと人を集めることができると思う。 ■ 女性の活躍できる環境について ➤ 女性の活躍できる場所が少ないと感じる。女性特有の困難について理解ある体制が整い、女性が活躍できるようになれば企業の活性化にもつながると思う。 ➤ 子育てしやすい環境という点で、伊勢崎市は公共交通機関が不便なことがネックになる。 ■ 伊勢崎駅から本町の商店街について ➤ シャッターが閉まっている店舗が多い。誰でも起業にチャレンジできる補助やシステムがあれば、開いている店舗が増え、伊勢崎駅から本町までの動線を歩いて楽しむことができるようになると思う。 ■ プロスポーツによる賑わいの創出について ➤ 太田市は、バスケットボールのクレインサンダースで祭りのように町おこしを行っている。伊勢崎市出身のプロスポーツ選手もいるので、スポーツで盛り上がるような取組ができると、地域の活性化につながるのではないかと。